学校番号	309

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	ﾗｲﾌｽﾎﾟｰﾂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ニュースポーツなどを取り入れ、健康の促進とコミュニケーション能力を広げ、生涯を通して豊かなスポーツライフを実践できる資質を磨く。また、体育科授業の指導実践を行い、そのスポーツの特徴や楽しさにふれながら、効果的な指導方法について学ぶことで、生涯にわたりスポーツの振興や発展に携わることができる人材や社会におけるさまざまな局面においてリーダーシップを発揮できる人材の育成をめざす。

2　学習の到達目標

個人、集団それぞれにおいて、スポーツを楽しみながら継続的に実践する習慣を身に着けることの重要性を理解する。また、スポーツの指導実践を通して、特定のスポーツの楽しさを効率的に他者に伝えるための基本的な手法を工夫したり実践したりしながらスポーツの本質についての学びを深める。男女共習を通して、年齢・性別・目的・競技レベルの異なる集団でスポーツの楽しさにふれるためのルールの工夫や場の設定について試行錯誤しながら学びを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・スポーツの特性や技能習得のポイントを十分に理解したうえで、丁寧な準備・計画を行うことができる ・事故や怪我の予防の観点を持って実践することができる ・競技の醍醐味を味わうために各種目の歴史や特性を学び、深く理解する。 ・指導実践における指導案の書き方と授業の進め方を理解する。	・チームプレイにおいて声を出してコミュニケーションを図り、集団を意識して戦略を伝達することができる ・対戦計画やチームの編成、ゲームスコアや記録をとり、反省材料として戦略に反映させることができる ・リーダーシップを発揮して集団に説明をして理解させたり、指示をして動かせたりすることができる	・健康や運動に対する意見をもち、他者の発言や新たな情報等に関して、興味関心をもって聞くことができる ・積極的に楽しみ、競技に参加することができるとともに、相手を敬う態度を示すことができる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ライフスポーツ	ニュースポーツの魅力にふれよう(インディアカ・アルティメット・スリータッチボール・フライングバードゴルフなど)	a：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか c ：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか	実技テスト	話し合い活動	受講態度 ふりかえり
2学期	ライフスポーツ	生涯スポーツの魅力を伝える授業実践(3人1組で種目を決め、その種目について研究し指導案を作成する。指導教諭に指導助言をもらいながら従業準備を進め、授業を行う。)	a：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか c ：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか	実技テスト 指導案	指導案 指導の様子	受講態度 ふりかえり
3学期	ライフスポーツ	生涯スポーツの魅力を伝える授業実践(3人1組で種目を決め、その種目について研究し指導案を作成する。指導教諭に指導助言をもらいながら従業準備を進め、授業を行う。)	a：特性に応じたプレイをするために仲間との連携した動きを身につけることができたか ルールや競技の特性や醍醐味を理解し、自己の指導実践に活用しようとしたか b：生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた工夫をしたか c ：楽しさや喜びを味わえるよう、自主的に取り組んだか	実技テスト 指導案	指導案 指導の様子	受講態度 ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度